

宮城教育大学附属養護学校内の樹木しらべ

高橋 義則*・中村伊知郎*・遠藤 浩一*・會田 憲之**・平吹 喜彦***

1. はじめに

宮城教育大学附属養護学校は、仙台市の市街地の西方に広がる青葉山に位置し、たいへん自然環境に恵まれている。常日頃この自然環境を生かした学習を組み入れてはいるが、豊かな自然に関心を示している児童生徒はまだまだ少ない。

今回の「学校内の樹木しらべ」は、高等部 C コースの生徒を対象とした活動である。将来就労を目指している生徒たちである。

高等部では、青葉山でのハイキングや野外炊飯など自然に親しむ活動を行っているが、青葉山の動植物や地形といった自然環境そのものを扱う学習はまだ行っていない。そこで、そうした学習の手始めとして、生徒たちが四季折々に目にしている校内の樹木を詳しく観察しながら、名札を取り付ける活動を行うこととした。構内の樹木一本一本の違いに気がつき、自然に親しむ楽しさを味わうことで、身近な自然に関心をもつことや、余暇の過ごし方の一助になると考えた。

なお、種の同定にあたっては、東北大学理学部附属植物園の友敬雄氏からご指導を賜った。厚くお礼申し上げます。

2. 目的

校内の樹木を詳しく観察しながら、名札を取り付ける活動を通して、樹木についての関心を高めるとともに、自然と触れ合う楽しさを味わう。

3. 計画

(1) 対象生徒

高等部 C コース 14名

(2) 指導日時

平成10年11月5日(木)

13:30~15:00

* 宮城教育大学附属養護学校、** 宮城教育大学大学院教育学

*** 宮城教育大学教育学部理科教育講座

(3) 事前準備

月 日	内 容
10月14日(水)	・実践指導についての打ち合わせ
10月21日(水)	・校内の樹木調査開始
11月1日(日)	・校内の樹木調査完了 ・パソコンを用いての次の2資料を作成『宮城教育大学附属養護学校グリーンマップ基礎データ』(表1) ・『宮城教育大学附属養護学校グリーンマップ』(図1) ・実践指導についての打ち合わせ
11月4日(水)	・名札を製作 ・名札取り付け用器具の準備 ・名札取り付け予定の樹木に番号札を掲示
11月5日(木)	・実践指導 樹木の観察、名札の取り付け

4. 授業の流れ

表2に示す。

5. 実践指導を通して

(1) 「樹木の名札の取り付けについて

名札に記した樹木名については、児童・生徒にとって分かり易い表示とした。また、取り付けに当たっては、見易さや樹木の保護を考慮した(グリーンマップ(図1)参照)。

生徒自身で樹木を探し当てることができるように、グリーンマップと対応した数字を記入した紙片を、あらかじめ樹木に表示しておくようにした。

(2) 生徒の取り組みの様子

当日は生徒一人一人が、グリーンマップ(ただし、樹木名は除いてある)を携行し、学習に取り組んだ(図2~4)。全体をふたつのグループに分け、1グループあたり生徒7名、指導者2~3人とした。紅葉している樹木、果実をつけている樹木、花が咲

研究科(修士課程)教科教育専攻理科教育専修、

表1. 宮城教育大学附属養護学校グリーンマップ基礎データ

整理 よび 番号	マップ中の 番号	名札名	科名	和名	図鑑の巻お ページ
1	61	たらのき	ウコギ科	タラノキ	木本 P114
2	39	かえで	カエデ科	イロハモミジ	木本 P9
3	40	かえで	カエデ科	コハウチワカエデ	木本 P10
4	8	かえで	カエデ科	トウカエデ	木本 p17
5	56	いちじく	クワ科	イチジク	木本 p92
6	41・42	ざくろ	ザクロ科	ザクロの一種	木本編 p207
7	48	すぎ	スギ科	スギ	木本 p15
8	55	ブラタナス	スズカケノキ科	アメリカスズカケノキ	木本 p151
9	18	つつじ	ツツジ科	オオムラサキ	木本編 p161
10	16・21	つつじ	ツツジ科	ツツジ科の一種	木本 p134
11	22	つばき	ツバキ科	ヤブツバキ	木本 p178
12	19	とべら	トベラ科	トベラ	木本 p34
13	4・23	にしきぎ	ニシキギ科	ニシキギ	木本 p35
14	13	まさき	ニシキギ科	マサキ	木本 p187
15	29	あんず	バラ科	アンズ	木本 p194
16	7	さくら	バラ科	エドヒガンの一種	木本 p194
17	28	さくら	バラ科	エドヒガン(イトザクラ)	木本 p194
18	47	さくら	バラ科	エドヒガン(ジュウガツクラ)	木本 p194
19	25・51	かりん	バラ科	カリン	木本 p224
20	12	さくら	バラ科	ソメイヨシノ	木本 p194
21	60	ピラカンサ	バラ科	タチバナモドキ(ガソマリ)	木本編 p20
22	1・44	バラ	バラ科	バラ属の一種	木本 p199
23	49	ゆきやなぎ	バラ科	ユキヤナギ	木本 p183
24	20	さわら	ヒノキ科	サワラ	木本 p19
25	3	ねず	ヒノキ科	ネズミサシの一種	木本 p18
26	45	ひのき	ヒノキ科	ヒノキ	木本 p19
27	27・64・46	いぶき	ヒノキ科	ビャクシン(カズカブキ?)	木本 p17
28	2・6・32	いぶき	ヒノキ科	ビャクシン(タマイブキ?)	木本 p17
29	58	こなら	ブナ科	コナラ	木本 p71
30	10・11・36	あかまつ	マツ科	アカマツ	木本 p7
31	14	トウヒ	マツ科	ドイツトウヒ(オシロイ)	木本 p11
32	62	はぎ	マメ科	ニシキハギ	草本 p205
33	50	はぎ	マメ科	ツクシハギ	草本 p205
34	30	はなずおう	マメ科	ハナズオウ	木本 p235
35	24	ふじ	マメ科	フジ	木本 p247
36	38	さるすべり	ミソハギ科	サルスベリ	木本 p95
37	52	ハナミズキ	ミズキ科	アメリカヤマボウシ	木本 p112
38	9・26・35	きんもくせい	モクセイ科	キンモクセイ	木本 p181
39	37	ねずみもち	モクセイ科	ネズミモチ	木本 p181
40	5・31	もくれん	モクレン科	ハクモクレン	木本 p107
41	15	こぶし	モクレン科	コブシ	木本 p107
42	63	いぬつげ	モチノキ科	イヌツゲ	木本 p27
43	43	うめもどき	モチノキ科	ウメモドキ	木本 p31
44	17	シュロ	ヤシ科	シュロ	木本 p236
45	57	ボブラ	ヤナギ科	ヤマナラシの一種	木本 p32
46	34	やなぎ	ヤナギ科	ヤマネコヤナギ	木本 p42
47	33	あじさい	ユキノシタ科	ガクアジサイの一種	木本 p168
48	59	りょうぶ	リョウブ科	リョウブ	木本 p121

植物名は『日本の野生植物草本、木本』(平凡社)および『原色日本植物図鑑 木本編』(保育社)に準拠した。「マップ番号」はグリーンマップ(図1)上の番号と対応する。「名札名」でカタカナのものは外来種(明治期以降に渡来)である。「和名」の欄で括弧内の名称は品種名。「図鑑の巻およびページ」の欄で、ザクロの一種、オオムラサキ、タチバナモドキの3種だけが『原色日本植物図鑑』に準拠した。

いている樹木と、様々な樹木を観察することができた。また、実物に触れながら、葉や幹、果実の特徴(形、色、匂い、味など)、成長する高さ、名前の由来、原産地、日用品として活用されていることな

どについて、分かりやすく、しかも楽しく説明を受けた。

同じ種類の樹木が2度目に登場する際には、指導者が樹木名を口に出す前に、元気に答えるといった

表2. 授業の流れ

時間	学習内容	指導上の留意点
13:30	1. ピロテイ に集合する。	寒くない服装で集合する。
13:40	2. 始まりのあいさつをする。 3. 今日の学習についての話を聞く。 4. 2グループに分かれて活動する。 名札を取り付ける場所と順序について知る。	説明はわかりやすく簡潔にする。 教師2~3名でひとつのグループを指導する グリーンマップ(図1)から樹木名を除いた図を作成しておき、配布する。 この図を使用して、名札を取り付ける場所と順序を知らせる。 第1グループ: 校門、ロータリー、校庭の周辺 第2グループ: 池、養護・訓練教室、体育館や焼却炉の周辺 以下のような特徴を観察することで、樹木について興味、関心を高めるようにする。 ・葉の形、大きさ、色、匂い ・果実の形、大きさ、色、味 ・幹や枝の色、模様、太さ ・木の高さ ・名前の由来や言い伝え 身近な樹木(例えば、まつ、さくらなど)については、生徒から答えを求める(二者択一またはクイズ形式等で行う) 名札の取り付けは、教師の示範後に行う。 樹木が生長するので、幹に取り付ける場合は、専用のスプリングを用いる。幹に取り付けられない場合は、枝につり下げたり、杭にして地面にさすようにする。
	樹木の観察を行う。	
	樹木に名札を取り付ける。	グリーンマップ(ただし、樹木名は除いてある)に樹木名を記入する。
14:50	5. ピロテイに集合する。	グループの代表から、樹木について学習したこと、または感想を発表してもらう。
15:00	6. 終わりのあいさつをする。	

佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠男(編)1989.

日本の野生植物 木本 . 平凡社 . pp.321 .

佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠男(編)1989.

日本の野生植物 木本 . 平凡社 . pp.305 .

佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成

忠男(編). 1982. 日本の野生植物 草本

. 平凡社 . pp.318



図3. 'つばさ'を持つ植物・にしきぎの様子を観察する。

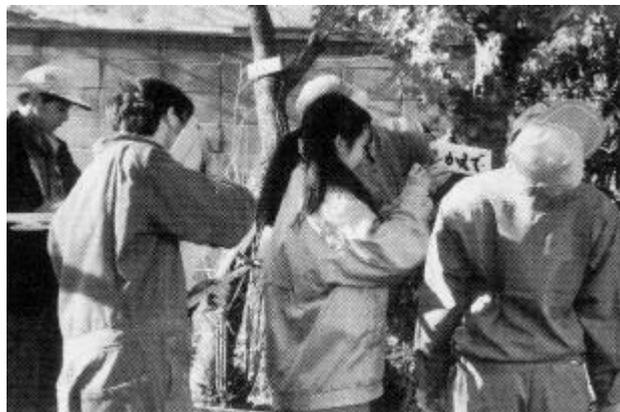


図2. 専用のスプリングを用いて、名札を取り付ける。



図4. 『ジャックと豆の木』を連想してしまいそうな、大きなふじの実を観察している様子。